
QA2-29 雨の日に一時的に空間線量率が高くなるのは、なぜですか。

A

- ① 大気中に存在する天然の放射性物質（ラドンの娘核種）の影響です。
- ② 空気中のラドンの娘核種が雨で地表面に落ち、地表近くの空間線量率を上げます。
- ③ そして、この現象は自然放射線によるものですので、今回の原子力発電所の事故以前にも観測されています。

統一的な基礎資料の関連項目

上巻 第2章 68 ページ「屋内ラドン」

上巻 第2章 70 ページ「固体のラジウムから気体のラドンの生成」

(解説)

(参考資料)

新潟県「天気や場所により放射線量が違う理由について教えて」

<http://www.pref.niigata.lg.jp/houshasen/1206291659936.html>

福井県原子力環境監視センター「空間放射線量率の変動」

<http://www.houshasen.tsuruga.fukui.jp/pages/hendou.html>

出典：量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所ウェブサイト「放射線被ばくに関するQ&A」より作成

出典の公開日：平成24年4月13日

本資料への収録日：平成29年3月31日